

伝えたいことはたくさんあるのに、 言葉にできないあなたへ

『「自分の言葉」で人を動かす』 5月20日 発売



映画の感想、プレゼン、企画書…

リアクションをもらえる「自分の言葉」を引き出す方法

「自分の思いを上手く伝えられない…」コミュニケーションにおいて、じつに2人に1人が悩んでいると言われてるのが、この現象です。

なかなか本音を言葉にできないがゆえに、借りてきた「レンタル言葉」で生きる日々。でも、本当は「自分の血が通った言葉」を、人に伝えたい。そんなふうに思っている方に、本書は、とっておきの方法をお教えます。

人を動かす「自分の言葉」を瞬時に引き出す「ある視点」があなたの中にインストールされる。それが実感できる、シンプルなメソッドが「教えたこと」という視点で話す、ということ。「教えた」という視点は「言いたい」と「認められたい」の中間にある、「本

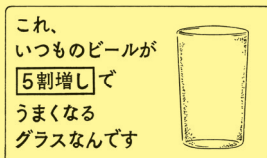
音を伝えやすい」視点なのです。

著者、木暮太一氏は、フジテレビ『とくダネ!』などで人気のコメンテーター。また、説明力講座を主催するなど「伝え方のプロフェッショナル」として活躍しています。

そんな木暮氏が、「作文なんてヤダ～」と言っていた子どもたちから原稿用紙がいっぱいになるくらいの「自分の言葉」を引き出す、奇跡の作文指導をヒントに導き出したのが、本書のメソッド。

営業、プレゼン、部下指導などのビジネスシーンから、友人との雑談、映画や本のレビュー、SNS用の文章など、あらゆる場面で「自分の意見」を伝えられるようになる一冊です。

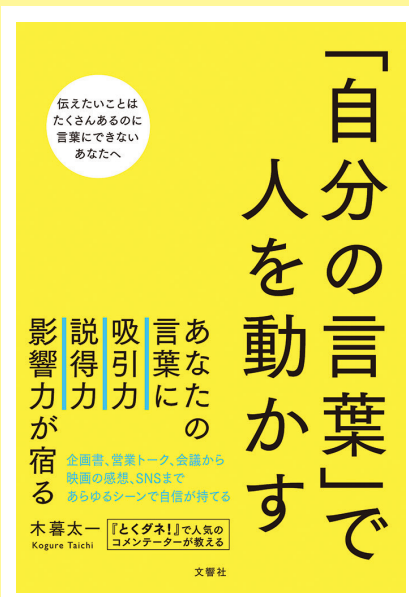
- ・映画の感想が「おもしろかった」しか言えない人は、一番感情が揺れたワンシーンに絞る
- ・「友だちに教えてあげる」と考えれば、刺さるPOPが書ける
- ・どうしても言葉が出てこないなら、「感嘆詞」からひもとく
- ・雑談は、「意図」を伝えればリレーが続く
- ・喜ばれるプレゼントを贈るには「教えたこと」を一言添える



【著者略歴】木暮太一（こぐれ・たいち）作家、一般社団法人教育コミュニケーション協会 代表理事 慶應義塾大学 経済学部を卒業後、富士フィルム、サイバーエージェント、リクルートを経て独立。学生時代から難しいことを簡単に説明すること、頭の中を言語化することに定評があり、大学時代に自作した経済学

の解説本が学内で爆発的にヒット。現在も経済学部の必読書としてロングセラーに。相手の目線に立った話し方・伝え方が、「実務経験者ならでは」と各方面から高評価を博し、現在では、企業団体向けに説明力養成講座を実施している。フジテレビ「とくダネ!」レギュラーコメンテーター、フジテレビ「ネプリーグ」、NHK「ニッポ

ンのジレンマ」、Eテレ「テストの花道」などメディア出演多数。『カ イジ「命より重い!」お金の話』『今までで一番やさしい経済の教科書』など著書多数、累計135万部。説明力養成講座、「自分の言葉で人を動かす」実践講座、開講中 一般社団法人教育コミュニケーション協会 <http://educommunication.or.jp/>



【書籍概要】

書名：「自分の言葉」で人を動かす
価格：1,240円＋税
著者：木暮太一
ISBN：978-4-905073-43-7
判型：四六版並製 192頁

【章構成】

第1章 「教えたこと」であなたの世界はこんなに変わる
第2章 人を動かす「自分の言葉」を引き出すメソッド
第3章 「教えたこと」であなたの言葉が武器になる